

つくりながら考える製品デザイン

Product Design Progresses while Making Prototypes

ものづくり支援センター 万城目 聡・安田 星季・高木 友史・印南 小冬・大久保 京子

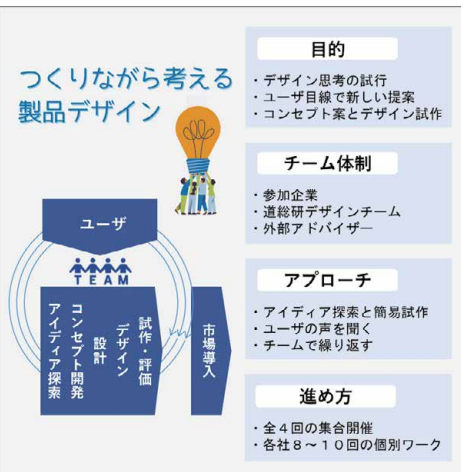
■支援の背景

道内ものづくり企業において、魅力ある製品を開発するためには開発初期段階からのデザイン活用が有効との認識が拡がりつつあります。しかし、社内デザイナーを抱える企業はほとんどなく、多くの企業が外部デザイナーとの連携も未経験のため、デザイン導入・活用のきっかけとして、製品開発初期段階のデザイン導入プログラムを体験してもらうことが有効と考えました。

そこで、ノンデザイナーでも実践できるデザイン開発技術を学べる「デザイン開発力向上講座～つくりながら考える製品デザイン～」を企画・実施しました。

■支援の要点

1. デザイン思考のアプローチを参考とした6ヶ月間のハンズオンプログラム
2. ノンデザイナーでも取り組める、紙や段ボールを用いた簡易試作などの手法習得
3. デザイン試作、パンフレットによる製品企画案の具体化



つくりながら考える製品デザイン

目的

- ・デザイン思考の試行
- ・ユーザ目線で新しい提案
- ・コンセプト案とデザイン試作

チーム体制

- ・参加企業
- ・道総研デザインチーム
- ・外部アドバイザー

アプローチ

- ・アイデア探索と簡易試作
- ・ユーザの声を聞く
- ・チームで繰り返す

進め方

- ・全4回の集合開催
- ・各社8～10回の個別ワーク



簡易試作によるデザイン検討



製品化したBBQコンロ

プログラムの概要

■支援の成果

1. 本講座を3カ年実施（令和3～5年）し、ものづくり企業10社が参加しました。各社それぞれ製品企画案をまとめることができました。
2. 事後アンケートでは参加企業の8割が本講座で体験したデザイン開発技術を自社の製品開発に取り入れたいと回答しており、プログラムの有効性を確認できました。
3. 講座修了後も引き続き製品化に向けた開発支援を継続しています。

（株）北海道スクリーン製作所 北海道江別市工栄町6-15 Tel.011-385-1831 他